

博物館市民説明会 R7.7.12 市役所特大（昼）

Q	・富士宮市には、計算すると一人当たり358,000円の借金がある。博物館を作ることは賛成だが、将来建物が老朽化することを考えると、新設することは問題の先送りだと思う。（※R6年度市民1人当たりの市債残高は251,338円） ・年代によっては、文化という捉え方が全然違う。 ・シャッター商店街を活用してミュージアムショップ化したり、そこで展示を行うことはできないか。 ・歴史文化については、3Dデジタル化すれば特に博物館に展示する必要もないと思う。 ・本計画について、丹青社というコンサルタント会社に外観デザインを委託していないか聞きたい。東京オリンピックの例もあるが、外観デザインを入れるかどうかによって金額に大きな違いがあると思う。
文化課長	・外観デザインは入っていない。 ・商店街については所有者が居るため、今それを何とも言えないが、そういったものと連携していくのは良いことだと思う。 ・お金の話は、市全体として今後をで見据えて計画的にやっているものなので大丈夫。
Q	・規模を小さくして展示をするという説明があったが、この場合に何を展示して何を残すか。 ・展示せずに保存しておくものについては、小中学校の空き教室を使ってはどうか。 ・展示するものは3Dデジタル画像で、誰でも家庭のパソコンで調査できる方式にしてはどうか。
文化課長	・既存の施設では保存に必要な環境を確実に満たすものがないため、博物館を作った際には、そういった収蔵庫が必要だと考えられる。 ・デジタルについては永遠ではないので、本物をしっかり保存していく必要があるし、実物を見ていただくとまた違う発見や感動があるかと思うので、デジタルも併せて実際の展示もやっていきたい。
Q	・デジタルについては、VHS等のディスクに依存すると方式がどんどん変わっていってしまうが、サーバーに入れておけば問題ない。 ・また、デジタルの利点として、退色した資料を原色に復元できる、一枚の写真からAI技術を使い動画を作成できる、という点があるため、私はデジタルデータをサーバーに移転しておくべきだと思う。

教育長	・デジタルアーカイブ化も博物館法の中にあるため、デジタルで記録を残していくということは、とても重要なことだと考えている。 ・いつでも復元できたり、当時の色合いでも見れる、というような点は本当にデジタルならではの、更に実物では見えないが、デジタルにすることによってより鮮明になったり、細部まで見ることができる点がデジタルの良さだと思う。 ・基本計画の中でこういったものをデジタル化するか、実物展示で残して実際に見てもらったほうがいいのかという点は、また検討していく必要があると思う。 ・私は学校に長く勤めていたが、今まで文化会館で行っていた美術作品、小学校の図工美術作品展が、リニューアル工事に伴い使えないといった時に、デジタルで残したらそこに行かなくても、例えば学校でも見れるし、いつでも見れるから良いのではないかと、というような話もあった半面、やはり立体等は自分の目で見て、確かめるというようなところが子供の感性というものを養っていくうえでは良いのではないかと、という意見もあり、結局、（デジタルも実物展示も）同時に行った。 ・デジタルはデジタルでいつでも見れるという良さ、それからやはり実物で見せたいということについては、実物展示もしたということもあるため、両方の良さをしっかり見極めてやっていけたらなという風に思っている。
Q	・私が30年前に調査した富士宮市史上下巻は、富士宮中央図書館にあり、貸出ができない。4年前にパワーポイントとワードの資料を文化課に提供し、今度はデジタルデータベースになるんですよねと聞いたが、結局は同じだった。 ・私は個人でB29について調べ発信しているが、日々データで更新している。 ・紙ベースというのは印刷・展示したとたんに劣化が始まる。デジタルの良いところは、随時アップデートができるところ。SDGsだから、持続可能な事業にしなければならない。どう転んでもデジタルデータベースはやるべきだ。
文化課長	・デジタルについては、まだ知識が十分ではない。基本計画を作っていく中で専門の業者も入っているの、どういった技術を使っていくか等も含めて勉強させていただきたい。
Q	きららの駐車場を想定されているとのことだが、富士宮市の持ち物なのか。 整備費用の中に、用地取得ならびに駐車場および屋外施設の整備費用は含みませんと書いてあるが、いくらくらいかかるのか概算は出ているか。
文化課長	・きららの駐車場は市の駐車場。 ・今の方向性としては、新たな用地は取得せず、市の持っている土地でやろうと思っているので、ここで言っている用地取得は今のところ予定していない。 ・造成については、使う予定地になったところの状況によって費用が変わってくるため、今場所が決まっていないので、造成費用も決めることができない。 ・施設の整備費用も、そこまでは想定できない。

Q	・場所が決まっていないというのは、きららの駐車場でない可能性があるということか。 ・他の候補地は、湿度の問題等で却下されたのではないのか。 ・先日の市長のお話だと、きららの駐車場の入口を譲り受けることができるとか、浅間大社や世界遺産センターとの関連を考えてやっていますと言っていて、きららに決まったとしか思えないが、違うのか。 ・決まっているわけではないのに、市長がそういう発言をされているということか。印象としては決定事項のように感じたが、勘違いか。
文化課長	・湿度等、色々な問題もあるが、きららに決まったわけではありません。市長も候補地の一つとして考えてと申し上げております。 ・市長としては、きららの駐車場を使うことでその他の色々なメリットがあるのではないかと思います。 ・きららの駐車場についても、利点の他に問題点もあるので、基本計画を作っていく中で、博物館でやる活動内容によって、どこにあると一番有効的な場所なのかというところを検討しながら決めていく。
Q	・きららの駐車場を使う時には入口の方が土地を売ってくださるとのことだが、取得金額の概算は出ているのか。 ・年間のコスト等はどんな展示をするかによって違うというが、基本や上限はあると思うので、教えていただきたい。
文化課長	・それについては、今年度作っている基本計画で規模が大体決まり、場所をどこにしようかといった時に概算は出ると思う。
教育部長	・概算については、きらら駐車場の利用者の方をなるべく阻害しないような形で、というところも考えるため、どの程度の面積にするのか、何階建てにするのかによっても変わってくる。 ・市議会議員や予算の承認等も必要になるため、今の段階で概算や、駐車場をどこまで使うのかということは出せない。 ・そういうところを今、皆さんの意見を聞きながら検討しているということをご理解いただきたい。
Q	・きららに建てる場合、いくらかかるのか。 ・こちらには17～22億と書いてある。1階だったら、3階だったらいくら、というような、概算でどのくらいの幅かも出ないのか。
文化課長	・何階建てにするか、きららになるかどうかというところも、今検討している基本計画の中で決めていく。ここに出している金額というのが、令和3年度近辺くらいで、全国で作られた金額の単価を参考にしている。 ・全国の博物館の金額というのも、今のところ、今の現状どこがいくらでというところはいま調べていないので、基本計画を作っていく中で、だいたい規模が決まればじゃあ今の時代、今の時期、作っているところというのはいうところで、もちろん金額の幅があると思うが、これと同じような形で、数字のほうは概算になると思うが、出せると思う。

Q	・富士宮市の人口増が緩やかすぎて心配。 ・富士宮市立病院は古く、色々な問題点があると聞く。博物館より先に子供たちや市立病院にお金をかけてはどうか。 ・3Dデジタル化について、今の子供たちは何でもタブレットで勉強しているから、それで実物のものを見る機会が欲しいかもしれないが、かなり不便ではないか。 ・以前、大宮城の冊子が出た時に文化会館に行ったが、誰にも会わなかった。それだけ皆さんの興味が低いということは改めて分かったが、冊子は面白かったので、ああいったものを子供にどんどん読ませればいいのではないか。 ・デジタル化したものが手元があれば、アップデートにお金はかかるかもしれないが、資料館を維持していく方がよっぽどお金がかかるのではないかと思うし、何が本当に大事か考えていただきたい
文化課長	・子育てや環境等の色々なところを順番にリンクさせていくというところで計画を立ててやっている ので、子育てや子供のことについてやっていないわけではない。
Q	・以前市長が、（子育て支援政策について）十分やっている、三人目から保育料をタダにしたと言っていたが、三人目からですか、と思った。周りの市町村と比べるとレベルの差がある。 ・資料館にかかる情熱と子供にかける情熱があまりに違うのではないか。
文化課長	・それについては、担当部署でしっかりやっている。 ・子供が育つ過程で、博物館で実物を見たり、実際に学芸員から話を聞くという経験は、大きくなってからできるものではない。小学校五、六年生で体験した事は一生残るという話も聞いたことがあるので、子供が大きくなってから環境を整えればいいということではない。 ・歴史文化を守っていくことは続けて、より充実させていきながら、お子さんのことも同時にやっていくことになる。
Q	・場所等、色々な計画が基本計画の内容になっているが、令和7年度の委託料の算定を考えると、令和7年度中に結論を出さないといけなくなってしまうのか。そうするとタイミング的にタイトなスケジュールになってくと思うが、どうか。 ・委託料を払ってこういうことを検討する業務というのはあるか。 ・基本計画は役所の中で決めるのではないかというイメージがある。 ・博物館の活動は歴史、民俗、自然科学といった、かなり広範囲に渡ってくと思うので、学芸員の方が少しずつやるのではもたない。ちゃんとした事務局組織的なものが必要になってくるのではないか。
文化課長	・先程のスケジュールで、来年度は基本設計というところで予算が間に合うのかということだと思うが、こちらの基本計画のほうは1年かけて作るが、その間で平行してやっていく部分もあるため、そういったところで予算をあげられる状態であれば、予算を上げていきたいと思っているし、基本計画は一年間で作る予定となっている。 ・委託の会社は丹青社というところが受けている。 ・組織については基本計画の中で、運営といったところも考えていくところになっている。基本構想の時点でも、組織体制を想定して作っている。 ・基本計画をこれから作る中で、本当に構想で作った時のままでいいのか、その後法律なども変わっていった、色んな所と連携してということもあるので、これからも検討していく。

Q	・多分人件費などはかなり負担になってくると思うので、その辺がどういうことなのか、組織の大きさがどのくらいなのかと思って聞いた。 ・初期費用に関しては予算が出ていたかと思うが、すごく経費がかかってくると、将来子供たちに申し訳ないと思う。 ・例えば富士市は博物館無料、静岡市は一回目は無料としているが、その辺りは富士宮市ではどんな風にパターン化するのか。
文化課長	・できた後の費用ということだが、博物館は社会教育施設のため、必ずしも入場料を取って運営費を賄うというよりは、費用は市がほぼ出す状態となる。 ・費用については、組織が決まらなと決められないところもあるが、大きく分けると建物の維持費、人件費、そこで行う事業の費用となる。 ・建物については、規模や構造が決まらなと費用も分からない。 ・人件費については、現在市には学芸員が6人おり、3人は埋蔵文化財センターで法律で決められた仕事をしているため、あと3名の学芸員が居る。事務的な事をやる職員も必要になる。 ・他にも事業をやっていく、維持管理にどれだけ必要かというのはこれから考えなくてはならなため、数字的なものは持っていないが、ただ社会教育施設として市民の方に利用していただく施設としてまずは考えている。
Q	・考古学資料は3D化でよいのでは、という意見もあったが、考古学資料は、デジタルデータのアーカイブはもちろん必要だが、実物をきちんと保存した上で検証していき、先に正しい技術や学説が出てきた時に新発見に繋がるものだと思うので、デジタルアーカイブのアップデートのためには、ちゃんとした施設が必要だと思う。データはあくまで平行して、補助に使うものであると考える。 ・ソフトウェアデータを使用するデータベースの展示への活用にあたって、ソフトウェア面の充実を予算に考慮していただきたい。 ・他の博物館では、常設展示をあえて常に新しくなる、常新展示という言い方を使っているところもある。先ほどテーマ展示を切り替えたと言っていたのは、それに近い感じなのかなという印象を受けた。 例えば郷土学習や自由研究のテーマを決めるような時期に、子供たちにも大人たちにも種まきを幅広くできるような、深く掘り下げるだけでなく、人によってどんな体験が刺さって、人生にどう響くかというのがそれぞれ違うので、幅広くおいておくことが必要だと考える。

Q

- ・人口減少や子供たちに直結するものという意見もあるが、郷土に愛着を持てなければ、また郷土に娯楽がなければUターン、Iターン、Jターンの種まきをすることはできないかと思う。子供のころに、将来に向けた色んな選択枝の種を蒔かないとその芽は出ない考える。
- ・人口減少が見えている状態でも、富士山学習や、それを行う教員たちの負担の軽減だったり、親御さんの子供さんの教育への負担の軽減も視野に入れていくと、生活に直結しないわけではない。
- ・資金がどうしてもかかってしまうことだが、箱物作りそのものへの反対に留まらず、博物館で楽しんだ経験がある人は、欲しいけれどお金が気になって賛成できないという人もいるかと思う。今ある生活を築いたのは先人なので、先人たちの生活がどんなものだったか、学べるような場所を作るために郷土史博物館が必要だと思うし、駅前のコワーキングスペース、ビジコネ等と連携して売店をやったりなど、そういった風に市民の生活と上手に関わっていけたらどうか。
- ・歩く博物館コースがあればよいのではという反対派の意見も見ただけだが、博物館で知って、実際に歩いてみたくなったという風に、双方向的に関わり合っていくべき事業だと思う。
- ・反対派の方たちが何にどう反対しているのかというのを丁寧に聞き取り、どうしたら賛成していただけるのかというのに心を砕いていただければ、博物館が市民生活にいかに関与できるかというのが、市民の休憩場所やエントランスなどで市民作品を展示したり、市民研究の掘り下げや発展の場所になったり、お囃子とか火伏念仏等のデモンストレーションを行ったりして、住んでいる市民たちの生きがいや郷土愛を深める場所にしていただけると十分可能なので、市民生活と博物館がいかに関与していけるかという関係性の構築に心を砕いていただければと思う。

文化課長

これからの基本計画を作っていく中で、そういったご意見も本当に助かるので、参考にさせていただきたい。

Q

- ・私は博物館を作ることに反対するわけではないが、なぜ今、ここまで急激に話が進んでいくのか、市のやり方に疑問を抱いている。
- ・市民が今どこを向いているのかということをもっと丁寧にみてほしい。
- ・例えば、きららを使っている方から『駐車場が無くなった、どこか他のところに駐車場を作ると言うけれど、年寄だから遠くに離れると行けなくなる』と聞いた。なぜ市民が日常を楽しく豊かにしているところに、そういうものを作るのか、という事をいくつも聞いた。
- ・令和4年～6年に市民周知の懇談会等を色々したというが、私はそこに一度も行っていないし、認識が無かった。一般的な市民は博物館に意識がない。
- ・それよりも新聞記事で市長が『市には潤沢にお金がある』といったことに、周りの人達も私も反発した。そんなお金があるなら市立病院の、とにかく人間の生きる死ぬが大事なところをまずお金をかけてもらいたい。
- ・市長や市議会が市民を大事にしているということが市民に伝われば、市民が富士宮市に愛着を持つし、親も富士宮は住みやすく本当によい街だよと子供に伝えられる。そういうところから市への愛着心や郷土愛が出てくると思う。それだけではなく、やはり文化や先人の知恵を体感することは大事だから、両輪をきちんと丁寧にしてもらいたい。
- ・令和11年に（博物館が）できるというのはあまりに性急だと思うのが普通の市民の意見。

文化課長	・令和4年度に市内各地で説明会をしたが、その時の情報が行きわたっていなかったということで、今回初めて参加していただいたということで、ありがとうございます。 ・両輪で、というお話について、そこのところは先ほど申し上げているが、市の方はこれだけではなく、全体を見て進めているので、もちろん病院のこともしっかり考えてやっている。
Q	・自分はこの説明会に今日で計3回出たが、皆さんの意見を聞いていると賛成の方がどちらかという と低い。 ・基本計画の予算が通ったことで市民が皆おかしいと思い、住民投票の運動になった。それに対して緊急説明会を開いた。僕も上井出ときららの説明会に出た。きらは一番候補地に近い所だから、近隣の住民がどう反応を示すかと思って行ったが、8割の方は反対していた。 ・4年前に市は歴史館を作るための非公開の委員会を行ったが、公開された資料が黒塗りで問題になった。この委員会は、4年前に（博物館を）作るんだということで集まったメンバーだけで行っている。 なぜ市民に諮らないのか。積立金を作って時間をかける等、方法はいくらでもあるのに、何故ここでバタバタやるのか。
Q	・この前の住民投票は4,860人の署名を1か月で集めた。1か月の期間が限られているから、焦ってやって、それでも2,900人の合格点に達した。ところが今日出ている市議会議員は数少ない。今日が最終日なんだから、本来は全員来るべきだ。 ・賛成した議員に決まったのか聞いたが、まだ決まった訳ではないという。市会議員がもっと地元の市民に対して情報公開して、反対や賛成ではなくて、いかにいいものを作る為にはどうしたらいいか、みんなが考えればいいではないか。 ・市長はただ決めたんだ、決まったんだっていうだけで、話にならない。 ・もっと良いものを作ろうと皆で少しずつ話し合い、少子化や子供、教育について考えてほしい。 ・やってはいけないとは言わない。歴史と文化は必要なことだから反対はしないが、かといって拙速に物事を考えないでほしい。
文化課長	今回の説明については、2月の議会で、令和4年の説明が足りなかったのではないかという意見もあったことから予定をしてきたところで、そのあと住民投票も重なってしまったというところもある。
文化課長	・今まで皆さんの意見をじっくり聞くという方法もあったが、そこは大変申し訳ないが、年数が過ぎてしまっているの、今ここで基本計画を作るにあたって、皆さんの意見はしっかり聞きながら作っていきたいと思っている。 ・先ほど、いいものを作るために色々な意見を皆さんの方から聞いたらどうだ、とのことだが、今本当に、いいものを作るためのご意見をいただければと思う。
Q	・作る為ではなく、作るか決めてからだ。感覚が違う。 ・もう決まっているのなら、説明会はいらないのではないか。 ・普通は公聴会ではないか。 ・もっと反対・賛成両者の意見を聞き、皆で言いたいことを言い合っていけばいいのではないか。
文化課長	・作る作らないというところで、市としては必要だというところがある。 ・皆様の理解を得ながら進めたいというところで、説明会をさせていただいている。 ・今年度は基本計画の予算をいただいている。

Q	本来はこの説明会は無かったものでは。署名活動があって、それで急遽説明会をやることになったのでは。
文化課長	時期的に重なってはいるが、四月当初から行う予定でいたので、六月の広報に載せられた。
教育部長	・説明会については、2月の議会で多数決ということで、議員の皆さんからご意見をいただいた中で、市民への説明について、丁寧にじっくりご意見をいただいているため、もうその時点から説明会というのは企画をしていた。 ・住民投票の話もあったが、先ほど課長が話した通り、4月の段階で広報6月号に原稿をあげないと市民に周知ができないため、もうすでに6回の説明会と、市民の皆さんを呼んでのワークショップ、それからフォーラムというものを企画していた。そちらについても事前に、署名審査が始まる前から計画をしていたので、ご理解いただきたいと思います。
Q	・6月の議会だよりに、この資料館に対して富士宮市議会の皆さんがどう考えているかという記事が顔出しで載っていた。 その時、3人くらいの方が賛成、5人くらいの方が反対、他の方は色々問題があるということで少し濁した言い方だった。 それなのに、なぜ議会で通ったのかが分からない。 後から聞いたら10対10で議長判断とのことだが、賛成の10人はなぜ広報ふじのみやに顔出しで載った時は3人しかいなかったのか。
文化課長	・（議会だよりの）頁の左側が賛成、右側が反対の方。 ・それぞれ皆さん理由がある中でやっていただいたが、反対の方の中には場所の問題や、そもそも箱物は要らないんじゃないのかというような意見、そのお金を他に回したらというご意見もある中で、予算に賛成された方については、基本計画を実際に作って、どんなものを目指すと考えているのかを確認しないと良いも悪いも言えない、という意見のほうが多いような状態。 ・これは2月の議会の中でこういった議論がされました。とい議会だよりの報告になる。 ・その2月議会で4月からの予算が決定されたので、今それに基づいて市は基本計画を作っているが、6月はそれについては議論していない。 ・先ほど挙げた、住民投票の条例を認めるかどうかという議論はしたが。
Q	交流センターきららにできるというのは、いつごろ話が出たのか。
文化課長	・令和4年に、皆様の所に説明に伺って話を聞く中で、やはりお金の問題が一番で、こんなにかかるのかというようなところがあった。 ・場所も、大体市が持っている土地で、広い土地が市街地から遠いところが多かったこともあり、本当にこの中から決まるの？というご意見もあった。 ・そういった中で、規模を少しコンパクトにすることで予算が抑えられるのではないかとこのところ、市街地にある市の土地も候補に入れられるのではないかとこの話が出てきたのが、昨年7月くらいで、その方向性を委員の方などに説明しながら、ここまで来たところ。 ・その後の9月の議会などで質問もあり、市長の方からきららの駐車場を候補地として考えているよというところは言わせていただいた状態です。
Q	・土地を持っていた人からは購入したのか ・市長が買いましたと言っていた。契約は済んでいないのか？

文化課長	・今地権者の方とお話している状態で、今はお借りしている。 ・あそこを購入することで、きららの駐車場にバスが入れられるのではないかとというようなところも検討はしてきたところだが、地権者の方とお話もして、話は進めている。 ・担当課ではないので、詳しいことは分からなくて申し訳ない。
Q	・別のリスクを考えてもらいたい。元々、富士川の浸水地域だから場所を移すということが発端になっている。最初は白糸の近くということだったが、白糸地区は湿度が高いから向いていないとなった。 ・白糸の滝・音止の滝はもともとは大断層地帯である。そして、きららは確かに洪水の被害はないかもしれないが、間違いなく50年以内にやってくる巨大地震でもし火災が発生した場合、延焼する可能性がある。 ・私の勤めていたテルモでは、非常に精密な機械にはスプリンクラーは使えず、ハロゲンガス噴霧装置という非常に高価な消火装置を使う。文化財も水を撒けばいいというものではなく、自動シャッターで遮断して、ガスを噴霧し、窒息した状態で消化する。だからもしきららに建てるとしたら消化・防火の新たなリスクが出ると思う。本来は公聴会で市民に色々なリスクをどうするのか全部まとめ挙げてから、市民が構想をまとめるべきだ。 ・文化課だけでなく、建築CADを使って市役所がまとめて構想デザインをするべきだ。
文化課長	・建物に関しては、基本設計、実施設計とやっていく中でどういう報告にするか検討していく。 ・外観デザインは基本設計をやっていく中で決めるため、今のところは作る予定はない。
Q	・先にレイアウトを決めてから後でデザインを作ってるのか？ ・何を展示するのは決まっていないのか。
文化課長	・今年度はレイアウトや平面図は作らない。 ・こういった展示をするかは決める。それをどういう展示の仕方をするかというのは次の段階。建物の基本設計をすると同時に展示のほうの基本設計をしていく。
Q	どんなものができるかというのが、市民が全然分からない。
文化課長	皆さんがこういう建物かと分かるのは、基本設計ができた時だと思う。
Q	そうではなく、まずデザイナーから設計家、建築会社をコンペしなさい。30社でも40社でもコンペすべき。
文化課長	・実際にコンペで建物の外観を決めることになったとしても、基本計画を作らないと次の段階に行けないため、まだその段階に至っていない。 ・白糸の湿気の話については、基本構想の時に業者が調査して分かったのではなく、令和4年に各地で基本構想の説明をしていった時に、白糸自然公園の辺りで長くお仕事をされていた方から「あそこは湿気が大変だよ」という事を聞いて分かった。
Q	基本計画という言葉がすごく曖昧だ。もっと具体的な説明でないと民間会社では通らない。
文化課長	基本計画でそこまで細かいところまで決めるのは難しいと思うが、基本設計の前段階の計画を今年度作っているので、そちらの方をご覧いただいて、またご意見いただければと思う。
Q	・この計画について、市が少し待ってくれて、考える時間を市民に与えてくれる方法は何かないか。 ・もう決まったということではない？

文化課長	・まず今年度計画を作っているの、そここのところと一緒にご意見を考えていただくことは可能と思う。 ・この基本計画が出来上がると、建物の規模が大体決まってくるので、次の基本設計の予算を議会に上げることになると思うが、その時に、できた基本計画についてこれではまずいのでは等のご意見をいただくタイミングがある。
議員	今日は私たちが発言する場ではないが、 ・確かに市長が建てたいというのはすごくいって、私達も聞いている。でも、それは決定ではない。 ・基本計画は建設決定ではない。基本計画が出来なければ、今皆さんがおっしゃっているような内容も決定ではない。
議員	・なぜ22人の議員が、皆さんが頑張ってくれたことに賛同しなかったのかよく考えてみてほしい。 ・基本計画が無い中で、あたかも博物館が建つというような話をされているが、それはまだ決まっていな。 ・基本計画を立てた後に基本設計に移るが、その際にまた議会に諮ってくるので、私達議員がその時の様子でしっかりと判断する。任せて欲しい。
議員	・先ほど、これで決まってしまうのか、という話があったが、まだストップをかけたりブレーキをかけたりする場面はある。 ・議員としては、決定したことではないのに、あたかもそういうことを皆さんに言えない。 ・私も箱物はいかがなものかとは言ってしまうが、事実を聞いて、判断してほしい。
Q	決定したかのように言う議員がいるが、決定していない？
議員	そうである。市長がそういっていても議会で議決しなければいけない。議決はすごく重たい。
Q	・この五年十年の間に小中学校の統合等が求められている。その中に、この五年くらいの間に廃校になったり、クラスが半分になる中学校等も出てくるが、その点はどうか。 ・少子化の時代なので、古い建物をリニューアルしながら、石器や戦争遺産など、富士宮の古いものを厳選したうえで展示していけばよいのではないか。いずれ（小中学校等が）空いた時に、博物館にふさわしい建物が、小中学校あるいは公的建物ではないかなと思う。
教育長	・先ほどの話と同じで、決まっているということは一切ないが、子供の数が減ってくるということは事実なので、それに対してどういう風に子供の教育環境を充実したものにしていけば良いかなど、地域の方や子供たち、保護者の方と相談しながらよりよい形ができればいいと考えている。 ・今後学校の空いたところの活用の仕方についてご理解いただいた上で、学校を統廃合することも重要なと思っていますので、ありがとうございます。